

# 民進党要望項目一覧

平成29年度9月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>1 チャイルドシート着用について 県内チャイルドシート使用率が、4年ぶりに低下した。過去3割程度で全国最下位だった使用率も現在は64%と全国平均並になった鳥取県だが、100%を目指すのが本来。 今一度引き締めを図り、3割以上の法令違反を減少するよう、県下あげて取り組むこと。</p>	<p>県内チャイルドシートの使用率は、平成28年に4年ぶりに低下したものの、平成29年には上昇し、過去最高となっている。 平成28年使用率：64.3%（対前年比△1.2%） 平成29年使用率：68.6%（対前年比+4.3%、全国15位） 今年度は「安心とっとり交通安全県民運動実施要綱」の中で全県的に取り組む重点事項として位置づけ、関係機関と連携して取り組んでいるところである。 今後も使用率100%に近づけるため、保護者や子どもに対する啓発・意識づけを更に推進する。 &lt;主な啓発事業&gt; ・大型商業施設におけるチャイルドシート使用キャンペーン（啓発イベント）の実施 ・各期の交通安全運動期間中に重点項目として位置づけた啓発活動・広報検問等の実施、登（下）園時の保護者への啓発活動 ・幼稚園等の保護者会と連携した保護者及び園児等への安全教室の開催</p>
<p>2 農業生産現場や梨選果場等の作業員不足に、対策を講じること。</p>	<p>農業では必要な労働力に季節変動があるという難しさがあるが、農業生産現場やJAでの選果場等で作業員不足に対し、農福連携の可能性を検討したりするなど、現場でも工夫して対応しておられるところである。さらにどのような対策が考えられるか、現場の状況をお聞きし、農業団体などの関係者と協議をして検討していきたい。</p>
<p>3 施設園芸の普及、拡大のため要望の多い低コストハウス支援事業を来年度も継続すること。</p>	<p>H27年度に「鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業」を創設して、低コストハウスを加速的に推進している。スイカ生産部等の各関係者から、まだまだ多くの要望をいただいております、また鳥取県農業活力増進プランの新たな10億円・1億円品目を育成するためにも、来年度以降も支援が継続できるように検討させていただきたい。 また、大雪によるパイプハウスの倒壊を防ぐために、既存ハウスで筋交い等の補強することも有効であり、研修会や現地指導を通じて農家等に周知していきたい。</p>
<p>4 北条湯原道路の未整備区間、福山ICから犬狹峠バイパスまでについて、自動車専用道路として早期に整備、着手すること。</p>	<p>現在整備中の「倉吉道路（倉吉西IC～（仮称）小鴨ハーフIC）」及び「倉吉関金道路（（仮称）小鴨ハーフIC～（仮称）福山IC）」の早期整備を優先的に促進するとともに、「倉吉関金道路（（仮称）福山IC以南）」についても、地元の意見を伺いながら、順次、検討・整備を進めていく。 また、今年度事業採択となった「北条倉吉道路（延伸）」（北条ジャンクション）についても、山陰道（北条道路）の事業主体である国にも働きかけながら、できる限り早期の完成を目指して整備を促進していく。</p>
<p>5 中部地震により自宅や賃貸住宅が被災し公営住宅等に入居しているが、転居先が見つからない被災者に対して、入居継続等の対策を講じること。</p>	<p>戸別訪問による意向確認の結果、やむを得ない事情により転居先が見つからないと判断された場合、1年間の目的外使用許可の延長（無償）を行い、継続して現住戸に居住いただくことを検討している。</p>